プロジェクトファシリテーション能力向上研修（4119133）

プロジェクト活動や会議における調整・推進の役割を理解し、今まで気づかなかった事例・情報・スキルを学びます。伸び悩み期、キャリアアップ期のSEの方必見。

開催日時	2019年5月13日(月) 10:00-17:00
カテゴリー	業務遂行スキル ヒューマンスキル
講師	足立英治 氏 （株式会社フォース・トランキル 代表取締役 ） 1978年日本ユニシスに入社、生産管理システムの開発等に従事、その後食品原材料メーカーに転職、購買、営業、人事、情報システム、経営企画、総務等のマネージャーを経験。1997年独立。国産ERPメーカーで、プロジェクトマネージャー、業務コンサルタントとして活動をおこなうかたわら、人事コンサルタントとして、人事制度、人事評価制度、人材育成体系の再構築を、上場製造業、SI等でコンサルティング活動に従事、研修講師としては、リーダシップ、ファシリテーション、プレゼンテーション等の研修で、上場企業から、中小企業まで、300社以上での実施経験を有する。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	若手SEの方 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

<<参加者の声 >>

・演習等を通じて、自身やチームで考える時間、議論する時間等を設けていただいたので、非常にわかりやすかった。
・午前中の演習で会議プロセスが重要であることがよくわかった。
・実践を何度も行うことで改善しながらファシリテータの役割を確認することができた。
・現在プロジェクトに参画しているので、自分の状況と照らし合わせることができた。
・リーダー＝ファシリテーターでなくても良いというのが気づきでした。中立な立場の人が会議にいる必要性を感じました。
・プロジェクトファシリテーションで心掛けるべきポイントがまとまっていた。
・ファシリテーションを実践的に学習できた。また、演習を通じて、体で覚えることができた。

****

プロジェクト活動の、成否を大きく左右するのが、メンバー間のコミュニケーションと、プロジェクトチームのチーム力です。多くのプロジェクト活動が、プロジェクトマネージャーのマネージメント能力・リーダシップへの過度の期待によって失敗しています。このような事態を未然に回避するには、メンバー間の相乗効果と、自律性を高めるチーム作りやプロジェクトマネージャーとは別に、プロジェクトあるいはプロジェクト会議を進行するファシリテータを配置することが有効とされています。

本セミナーでは、プロジェクト活動、プロジェクト会議における、ファシリテータの役割を理解し、ファシリテーションスキルを実践的に若手SEの人たちに身につけていただきます。
ケーススタディーを通して具体的、かつ実践的なノウハウを習得します。
また、情報システム部門マネージャー、ベンダープロジェクトマネージャー、業務改革コンサルタントの経験を有する講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します。

若手SEとして、要求定義・システム開発・業務改革等のプロジェクト活動で活躍されている方、必見の講座です。

<<本セミナーの期待成果>>

１．プロジェクトチームの、チーム力向上の方法を学ぶ。
２．プロジェクトチーム活動の効率化・活性化・創造化力向上のための、３つの視点を理解し、
各視点で、何を実行するべきかを学ぶ。
３．ファシリテーションと、リーダーシップに関して理解し、プロジェクトチームでの活用方法を理解する。
４．プロジェクト会議の効率的で、ロジカルで、創造的な進行と、活性化されたチーム作りの方法について実践的に習得する。

<<プロジェクト会議に次のような症状がある場合、　本セミナーの受講によりこれら症状が改善されます！ >>

・偏った人だけが発言して、会議で意見を言わない人が多い。
・会議で意見は出るが、争点が絞れない。
・話し合いのフレームを考えるだけで、1日浪費してしまう。
・多くのアイデアは、出るが解決策を絞り込み決定することができない。
・出席メンバーの、問題意識、当事者意識に差がある。
・会議で決まったことが、実行されない。
・会議時間が、常に延長される。
・プロジェクトで事務局の役割が見えない。

<<内容>>

（１）オリエンテーション

（２）強いチーム

コンセンサスゲームを使って、強いチームを創るためのファシリテータの役割を理解する。

（３）ファシリテータの基本行動

プロジェクト立上げ、計画実施、変更管理、評価の各ステップでのプロジェクトファシリテーションを行うための
ファシリテータの基本行動を双方向講義で明確にする。

（４）プロジェクトキックオフ会議のプロセスデザイン

ケースによりプロジェクトキックオフ会議準備を通じて、プロセスデザインを実践的に習得する。

（５）プロセス観察と介入のスキル

会議におけるファシリテーションの基本行動（質問のスキル、記録のスキル、介入のスキル）を
双方向講義とロールプレー実習で習得する。

（６）相互啓発と介入のスキル

会議の問題行動への対処をロールプレー実習で習得する。

※状況によって内容・進め方を変更する場合があります。